

市町村で取り組む親子関係形成支援事業なら 前向き子育て・トリプルP



Positive Parenting Program の特徴

親子関係形成支援と親支援プログラム

令和6年4月に施行となった改正児童福祉法では、市町村を実施主体とした**親子関係形成支援事業**が創設されました。健全な親子関係の形成を支援するために、ペアレントプログラムやペアレントトレーニングなどの**親支援プログラム**が推奨されています。親支援プログラムには、個別、グループ形式で行うもの、1回で終わるもの、継続して行うものなど様々なものがあり、**誰でもどこでも必要な支援を安定的に効率的**に提供できます。

トリプルPとはなんでしょう

1. **Positive Parenting Program** の3つのPを意味します。オーストラリアクイーンズランド大学心理学の研究者によって開発された親支援プログラムのひとつです。日本語では「前向き子育てプログラム」と呼ばれ、世界41か国以上で実施されています。
2. **子どもの発達を促しつつ、親子のコミュニケーション**、子どもの問題行動への対処法など、それぞれの親子に合わせた方法に変えていくための考え方や**具体的な子育て技術を学ぶ**ことです。まさに、**健全な親子関係の形成を支援するプログラム**です。
3. **トリプルP**は、年齢が2-12歳のお子さまが対象の親支援プログラムですが、思春期のプログラム、お子さんに障害がある場合のプログラムもあります。形式も、講義形式、個別相談形式、グループワーク形式があり、**限られた人員でもその家族のニーズに応じて効率的・効果的に支援が提供**できるよう開発されています

トリプルPの特徴と強み

1. トリプルPには親御さんの**ニーズに応じて様々な種類のプログラム**があります。
2. トリプルPはWHOや国連に**エビデンスあるプログラム**として認められています。国内でも、親の子育ての態度の改善、子どもの問題行動の減少、親のメンタルヘルスの改善が報告されています。
3. **支援効果を測定**する方法も確立しており、効果的な行政の事業評価が可能です。
4. プログラム実施者（**ファシリテーター**）の**養成講座**は心理学博士課程修了のトレーナーが行い、**質の高さが保証**されています。
5. ファシリテーター資格は**更新制度はありません**。更新費用もかかりません。

トリプルPの種類と市町村の導入モデル

1. トリプルPの種類



レベル2 特定セミナー (2から12歳の子どもの親) ★

内容：12歳以下の子どもを持ち、子育てはほぼ順調だが1-2の心配事があり、トリプルPのエッセンスを学びたい親御さん20名から200名を対象とします。3種類の90分程度の子育てセミナーのプログラムです。



レベル2 ティーンズトリプルPセミナー (12歳から18歳の子どもの親)

内容：高校生までの年齢層のティーンエイジャーがいて、ティーンエイジャーの成長を促す一般的な情報に関心のある親御さん20名から200名までを対象とします。3種類の90分程度のセミナーのプログラムです。



レベル3 プライマリケアトリプルP ★

内容：テーマを決めて行動の問題に対応するための子育てプランを、保護者が作るのを助ける1体1のプログラムです。4-6週間の間に3-4セッション(各15-30分)を提供します。問題が改善しない場合は、その後グループトリプルPをお勧めすることもあります。



レベル4 グループトリプルP ★

内容：12歳までの子どもを持ち、子どもの問題行動に困っていて様々な子育て技術を学びたい、親御さんのためのプログラム。5回のグループセッション(各2時間)と、3回の個別電話相談(各15-30分)を行い自分で問題を解決できるよう保護者を支えます。



レベル4 ステッピングストーンズトリプルP

内容：お子さんが障害(知的障害、自閉スペクトラム等)をお持ちの親御さんのためのプログラム。6回のグループセッション(各2時間30分)と、3回の個別電話相談(各15-30分)で、難しい行動に対応し、自分で問題解決する技術を習得できるよう支援します。

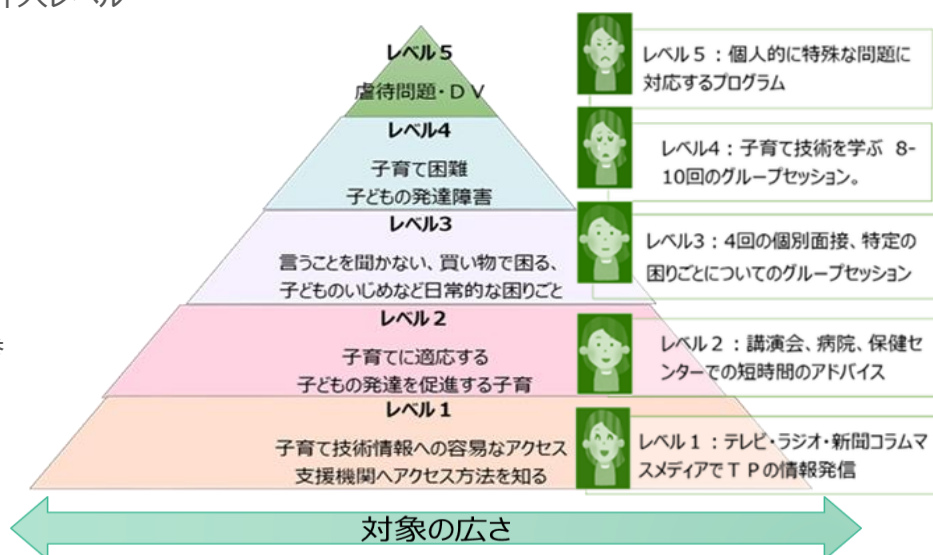
2. 対象のニーズに応じた介入レベル

ニーズに応じてプログラムが開発されているので、必要な支援を効率よく提供できます。

トリプルPの対象は

Every Parent

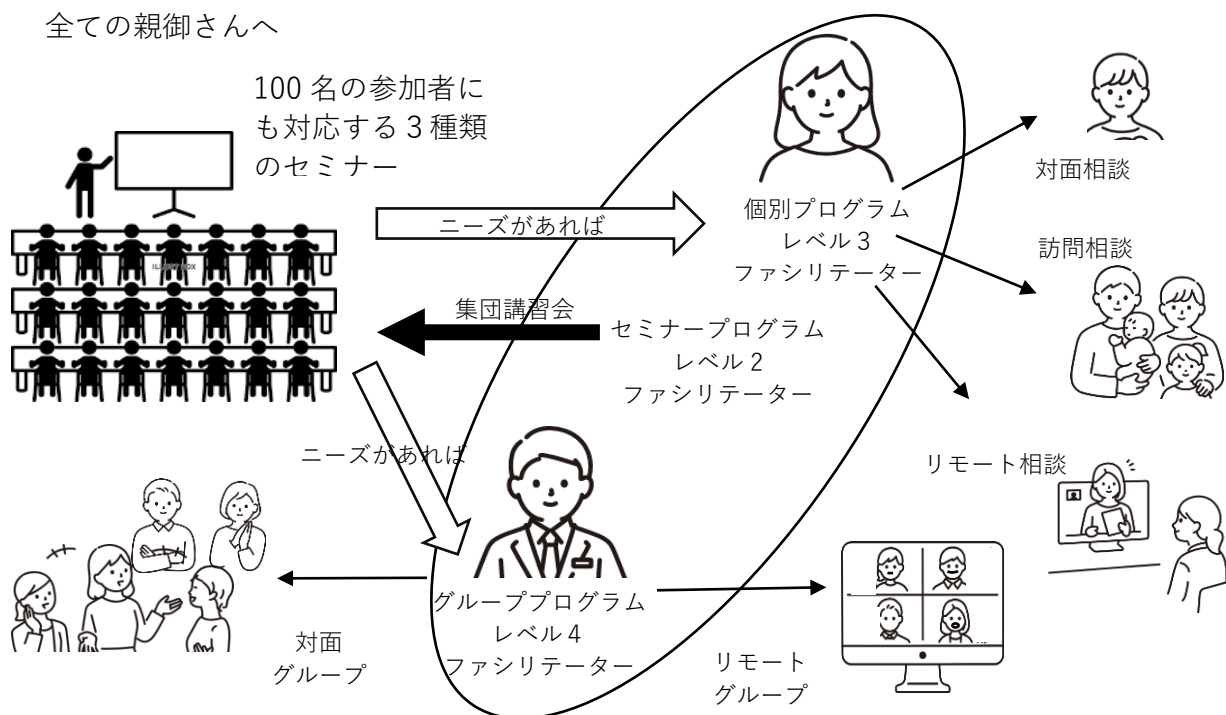
問題のある親御さんだけでなく、すべての親御さんが参加することで、地域の子育ての質、子どもの健康を向上させることができます。



市町村で取り組む親支援プログラムなら トリプル P

Positive Parenting Program の特徴

3. 導入実践モデル



レベル4、レベル3のファシリテーター1名ずつがレベル2の資格を持っていれば、すべての親御さんにセミナーを届けられ、必要に応じて個別相談、訪問相談、そして、グループプログラムでフォローアップできます。また、すべてリモートでの対応が可能です。

4. おすすめのプログラム★

まず、グループプログラム（レベル4）、個人プログラム（レベル3）、特定セミナープログラム（レベル2）を導入されることをお勧めします。

5. ファシリテーターは職員さんの他、子育て支援団体、病院職員、教育委員会など、自治体のご事情に合わせてご検討ください。
6. 市町村の持続可能なプログラムの運営につきましてご相談に応じます。
7. 現在問題のない親御さんでも、プログラムの受講により、将来の問題を予防できます。
8. それぞれの家庭にあった育児法を一緒に探し、親御さんの応用力と自信を身につけます
9. 深刻な虐待が起こる前の予防的支援に導入すると効果的です。
10. 問題の複雑なご家族には、親御さん自身の心の傷へのカウンセリングや具体的な生活支援が必要です。その中で、このプログラムはよりよい親子関係の構築をサポートできます。

新しいファシリテーターを増やし、地域の「子育て支援」の継続を目指しましょう！

トリプル P ジャパンでは、各種プログラムの養成講座の開催をホームページでお知らせしています

市町村で取り組む親支援プログラムなら トリプル P

Positive Parenting Program の特徴

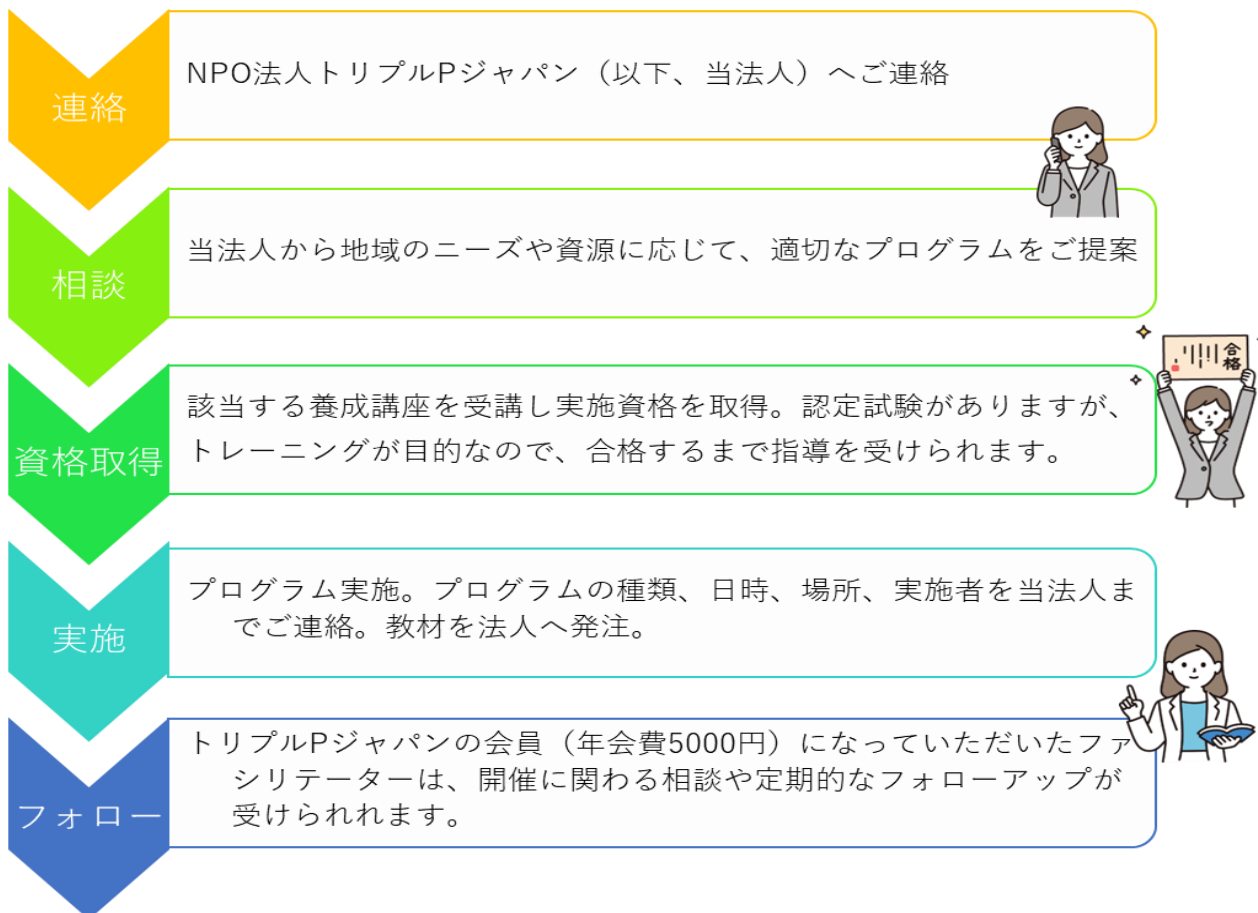
実践地域と保護者の感想

1. 国内では、北海道、東京、神奈川県、和歌山県、大阪府、京都府、兵庫県、愛媛県、福岡県、佐賀県などで、子育て支援事業として実践されています。
2. よりよい親子関係が築かれ、親も子どもも自信をもてる、楽しくなるが実感されています。



トリプル P 導入のプロセス

まず、NPO 法人トリプル P ジャパン
へご連絡ください。



<問い合わせ先> NPO 法人トリプル P ジャパン 代表 柳川敏彦

事務局 〒140-0014 東京都品川区大井 1 丁目 6 番 3 号 アゴラ大井町 3F

(電話 : 03-3777-2722, Fax : 03-3777-2723 e-mail office@triplep-japan.org

URL : <http://www.triplep-japan.org/>